



Newsletter

No.87

2021年6月5日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

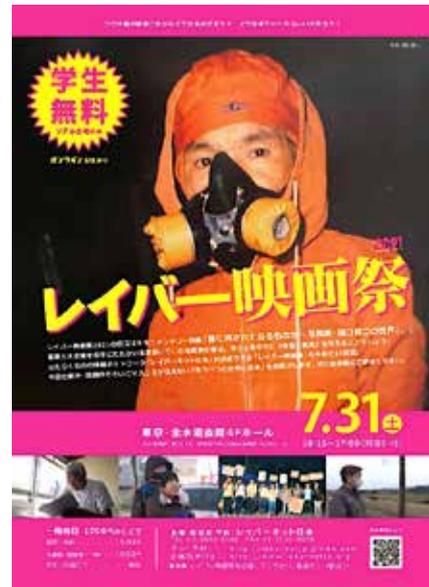
## レイバー映画祭 2021 を成功させよう！

### ーオンライン同時配信の新たな試みー

コロナ禍が続きこれからどうなるのだろうか？ どう生きていったらいいのだろうか？ コロナは社会の矛盾を一気に表面化させました。後手後手のコロナ対策と五輪にしがみついた菅政権に人びとは愛想をつかし、支持率は激減しています。アベガ自民党政治を終わらせるチャンス到来です。入管法改悪を止めた市民社会のチカラも生まれています。総選挙が近づくなか、いま私たちにできることを精一杯やってみましょう。

昨年はコロナ禍で開催できなかった「レイバー映画祭」ですが、ことしはやりまします。会場を田町交通会館から水道橋の「全水道会館」に移します。ちょうど全水道会館は5月にリニューアルし「通信環境」が大幅に改善されました。そこで映画祭では初めて「オンライン同時配信」をすることにしました。14回目を迎えた今年の「レイバー映画祭」も新作・話題作の目白押し。メインの作品は、ドキュメンタリー映画『闇に消されてなるものか〜写真家・樋口健二の世界』です。国家と大企業を相手にたたかい生き抜いていた写真家の姿は、きっとあなたに「希望と勇気」を与えることでしょう。その他、韓国労働運動から生まれた『グッバイ・マイヒーロー』（日本初公開）、『ユニクロ/ジャバ・ガーミンド争議』、そして堀切さとみさんの新作『原発の町を追われて・十年』を上映します。

これまでレイバー映画祭を「実行委員長」として支えてきたのは、映画批評家の木下昌明さんでした。昨年12月に残念ながら亡くなりました。でも今年の映画祭の「スクリーン」で再会できます。トリで上映する『映画批評家の冒険』は14年にわたってつくってきた「木下3分ビデオ」の集大成作品です。「映画ムーブメント」に情熱を燃やし続けた木下さん。今年の映画祭は木下さんを追悼し、かれの仕事を引き継ぐ集いになるでしょう。さああなたも、7月31日のレイバー映画祭に参加しましょう。オンラインでもオフでもOKです。詳細はチラシをご覧ください。



#### ● 『グッバイ・マイヒーロー』

##### 国際部が字幕作成

今回上映する『グッバイ・マイヒーロー』は、双竜（サンヨン）自動車解雇労働者の日常を描いた作品で、韓国では2017年の最も注目すべきドキュメンタリー映画として話題になりました。「解雇労働者」の父親と9歳の息子との葛藤を描き、少年が、徐々に世界に出会っていく感動的なストーリーです。日本でたたく労働者にこそ観てほしいと思い、レイバーネット国際部が字幕を作成することになりました。ぜひお楽しみに。

#### ● 隣の小会議室を活用します

全水道会館 4F ホールの脇の「小会議室」（キャパ27人）を借りました。ここにグッズ・書籍・DVDなどの物販コーナーをつくりまします。また休憩したり、交流の場になるでしょう。Wifiがあるので、ホールのライブ映像を流すことも可能です。

## レイバーネット 今後の活動予定

### 1, レイバーネット TV

160号放送: 6月16日(水)

「オリパラはいらない! おことわり TV」

161号放送: 7月21日(水)

\*内容未定

### 2, レイバー映画祭 2021

7月31日(土) 10.15 ~ 17.00

全水道会館 4F ホール

### 3, 夏期合宿

SCAT セミナールーム「毛呂分室」の冷房設備が強化されました。そこで今年は、ぜひ8月に合宿をやりたいと思います。日程詳細はこれからです。

\*会費カンパをよろしく。同封の振替用紙をご利用ください。

## みんなの力で入管法改悪を止める！レイバーネット TV も頑張った



「日本にいる外国人を煮て喰おうと焼いて喰おうと勝手」。これは1965年の法務官僚の言葉だが、日本政府の基本姿勢を示すものだった。技能実習生のように都合のいい時だけは労働力として使い、いらなくなったらポイ。難民認定率は日本はたった0.2%で、入管施設では長期収容の人権侵害が問題になっている。ところが2021年政府の入管法改正案はこれをもっと悪くする内容。与野党の議席差を考えると止めるは難しかった。しかし、名古屋入管でのスリランカ女性・ウィシュマさんの死亡事件をきっかけに、人びとの怒りは一つになった。そしてついに「廃案」に追いこんだ。

5月18日正午、「入管法案取り上げ」のニュースを受けて、国会前では2人の学生がマイクを握っ

た(写真)。「私は23歳。入管で収容者と面会をしたことはあるが、こうした実際の活動は初めて。私たちはZ世代でSNSは得意だが、顔をあわせる活動は慣れていなかった。でもシットインでたくさんの人と出会うことができた。今回のことで、小さな一人ひとりでも集まったら大きな声になって、実際に変化につながることをできることを人生で初めて実感した」「これからもできることを続けていきたい。廃案にはなったが入管の現状は変わらない。収容されている友人の生活は変わらず苦しんでいる。今回はゴールでなくスタートだと思う」と。

私たちレイバーネットも、4月21日「レイバーネットTV」で、スリランカ人・ダヌカさんをゲストに入管の実態を取り上げ、また国会前シットインの報道を力を入れた。このたたかいは、難民当事者、弁護士、国会議員、研究者、労働組合、NPO、市民、学生、ジャーナリスト、メディアなど、ほんとうにさまざまな人たちが集い、心をひとつにして行動し、政治を動かした。(M)

＜レイバーネットTV第159号(5/19)＞

5月19日の放送では「スーパーホテル」争議を取り上げた。スーパーホテルは安くて人気、その安さを支えているのは、無茶苦茶な働き方だった。ますます増える「雇用によらない働き方」に警鐘を鳴らした。視聴数も1週間で1000を超えた。「レイバーネットならではの問題提起満載の内容でした」の声が寄せられた。

### 各プロジェクト活動報告

＜川柳班＞

オンラインを導入してリニューアル

毎月句会を行い活発な活動を続けている川柳班ですが、句会の進め方・報告の仕方を含め、いろいろ問題が指摘されました。そこで5月27日は句会をやめて、今後の活動の進め方について自由な意見交換を行いました。リアルに5人、オンラインで6人の計11人が集まりました。そこで決まったのは、「リアルの句会がメインだがオンラインを併用する／そのことで首都圏以外の参加者を増やす／句会報告の簡素化を計る／句会は年9回くらいのペースに／たまにゲストを呼ぶ」などです。場所もネット環境のある「郵政共同センター」に移します。今回は、6月28日(月)で兼題は「続」です。ぜひリニューアルした川柳班の活動にあなたも加わりませんか。(笠原真弓)

＜シネクラブ＞

『トランボ』、弾圧の時代をどう生きるのか？

4月は『トランボ～ハリウッドに最も嫌われた男』の上映&討論会を、郵政共同センターで行いました。前回の『ジョニーは戦場へ行った』の脚本を書いたのがトランボだったということや、2016年に公開された時に劇場で観て感動したという人もいたので、ぜひこれをとり上げようということになったのです。この回は初参加者が多く、いろいろな

ことに気づかせてくれる討論会となりました。

共産主義への弾圧が吹き荒れる1950年代、映画人がどう生きたのか。トランボに「勇気をもらった」という感想が多かったのですが、加害者に責任をきちんと取らせなかったことで、同じようなことが今も変わらず起きているのではないかと、そんな意見も出てきました。また、高校時代をアメリカで過ごしたという女性は「レッドパージがなぜ起きたのか、議論するような授業がアメリカにはあった」と話していました。過去の歴史に学ばない、議論をしないという点では、日本はもっとも遅れていると、あらためて認識させられた思いです。

一時間ほど感想を言い合ったあと、10人ほどが残って二次会。仕事や映画の話に花が咲き、コロナ禍にあって、このような場があることの大切さを改めて感じます。あなたもぜひ参加してみても。なお5月29日は、2019年に韓国で公開された歴史映画『マルモイ ことばあつめ』を取り上げました。(堀切さとみ)

＜ブッククラブ＞

サイトの書評欄に反響ひろがる

ブッククラブは6月6日の『労働組合とは何か』(木下武男)で29回を迎えます。第1回は2017年7月岩波文庫『朝鮮短編小説選(上)』所収の「洛東江」でした。最近は、『人新世の「資本論」』(20年10月)、『民衆暴力』(12月)、『海をあげる』(21年1月)、『3・11後の社会運動』(2月)、『緑食論』(4月)といまの問題を考えるアクチュアルな書がジャンルを問わず取り上げられ、討論も楽しいものに

なっています。昨年6月、コロナウイルス蔓延のためオンライン実施に切り替えましたが、そのためかえて参加者はふえ、在住地域も広がりました。ネットの効用でしょう。本つながりと言うと、サイト掲載の〈本の発見〉は4月15日の『ふくしま原発作業員日誌』で200回になりました。第1回は2017年2月15日の『プリズン・ブック・クラブ』でした。最近は〈本の発見〉での紹介を出版社、読者、著者等から求められることも多く、また書評自体がTwitterやFacebookで広がるなど反響も大きくなっています。本えらびの視野を広げ、的確な評を展開するよう期待が高まっているようです。(志真秀弘)

### <あるくラジオ>

#### 根岸恵子さん、根津公子さんの生き方

「あるくラジオ」は、最近、注目度が高まりアクセスも増えている。15回目(3/26)のゲストはフランスのドキュメンタリー映画『雄叫び一気候変動へのたたかい』を日本に紹介した根岸恵子さん。話は多岐にわたったが、フランス・ナントの空港建設反対闘争の話はとても新鮮だった。根岸さんは実際、その現場に入り一緒に泊まりこんで生活していた。それは「ZAD」(ザッド/「守るべき土地」の意味)と呼ばれる運動で、開発計画に物理的に阻止するために地域を「占拠」するのである。いまグローバル資本主義が行きづまり「コモン」の必要性が言われているが、「ZAD」の試みは「コモン」

を考えるヒントに満ちていた。

5月8日に放送された第16回のゲストは根津公子さん。約1時間、その人生と歩みをリアルに語った。良妻賢母をめざしたという根津さんが、なぜ



教員の道を選び、社会に向き合うようになったのか? 卒業式・入学式のたびに「君が代不起立」を貫いて、そのたびに処分を受け最後は「停職6ヶ月処分」を2回も。あとは「解雇」しかなかった。仲間の友人から「卒業式だけ休めばいいじゃないか」と言われ、心が揺れた。「一度、逃げようと思ったこともある。しかし自分が許さなかった。自分をごまかしたらその後の人生を生きていけないと思った。ますます国家主義に向かう日本、モノが言えなくなる学校、奪われる教育の自由。それを考えると、これは私だけの問題ではないと思った」。根津さんは熱く語ってくれた。

## レイバーネット総会 2021 が開催されました

3月13日、「スペースたんぼぼ」(東京・水道橋)でレイバーネット総会 2021 が開かれました。大荒れの天気の中でしたが、リアル参加が16人、オンライン参加が北海道からを含めて9人で計25人でした。第一部では、経過報告・会計・人事案が承認されました。これからのレイバーネットの運動をめぐるディスカッションも活発で、具体的提案も多数出ました。ぜひ一つひとつ実行していきたいと思えます。以下、会計報告(骨子のみ)と運営委員を紹介します。

### <2020年度会計報告>

#### ●基本財政

収入 1,586,983円(会費・カンパ)

支出 1,370,456円(諸活動費)

差引 216,527円(a)

#### ●レイバーフェスタ 2020

収入 325,706円

支出 413,920円(会場費値上り)

差引 △88,214円(b)

#### ●レイバーネット TV

収入 190,000円

支出 313,665円

差引 △123,665円(c)

#### ●川柳句集関係

収入 220,200円(売上げ)

支出 282,920円(印刷費)

差引 △62,720円(d)

\*句集は2019年売上げがありトータル黒字

・2020年度の総合決算 △58,072円

・2019年度からの繰越金 738,524円

・差引残高 680,452円(2020年12月31日現在)

\*2020年度は若干の赤字でしたが、その後、会費カンパの納入状況は順調で財政は持ち直しています。引き続きご支援よろしくお願ひします。

### <2021年度運営委員 順不同>

河添誠(共同代表)・安田幸弘(共同代表)・尾澤邦子(共同代表)・松原明(共同代表)・土屋トカチ(事務局長)・奥山貴重(会計監査)・佐々木有美・高幣真公・杜海樹・安齋徹雄・森広泰平・須田光照・下見徳章・ジョニーH・笠原真弓・杭迫隆太・乱鬼龍・堀切さとみ・西中誠一郎・山口正紀・白石孝・前田健司・稲垣豊・長島信也・根岸恵子・金野正晴・見雪恵美・北穂さゆり・渡辺照子・柴田武男・小山帥人(関西)・井手窪啓一(関西)・大椿裕子(関西)・志真秀弘(新規)黒鉄好(新規)以上35人  
\*残念ながら運営委員だった岩川保久さん、木下昌明さんがお亡くなりになりました。

## 新会員紹介

### ●あこがれのレイバーネットでやってみたい事

女闘労倶楽部レイバーネットに参上！皆さま、これまで大変お世話になり有難うございます。私たちは今年3月8日に『女闘労倶楽部（めとろくらぶ）』を立ち上げ、不慣れ・不備ながらもホームページも立ち上げました。女闘労倶楽部（めとろくらぶ）  
<https://metroclub-2021.jimdofree.com/> そしてレイバーネット会員にも登録いたしました。あこがれのレイバーネットでやってみたい事を書きます。・読書会に参加・声を上げる人への取材・「あるくラジオ」の企画・若者たちにレイバーネッ

トのサイトを周知するための企画。どうぞよろしくお願いいたします。（写真＝「女闘労倶楽部」のお披露目となった4.11アップリンク上映会）



## INFORMATION

### 許せない！サンケン電気と埼玉県警によるデッチ上げ弾圧



こんにちは、尾澤邦子です。友人のみなさま、私のケガ・病気と夫の逮捕の件でご心配をおかけし、申し訳ありません。5月10日朝、埼玉県新座市にあるサンケン電気本社前で夫が逮捕されました。韓国にある100%子会社韓国サンケンの会社廃業・全員解雇について、地方労働委員会からの「話し合い勧告」を伝え、話し合うよう求めて行っただけでした。月曜行動として取り組む地域の人たちと共に、プラカードを掲げてスタンディングをしていたそうです。でもその日の警備はものものしく異常で、サンケン電気の通報で来た警察の対応も数も異常だったそうです。「暴行」をでっち上げられ、逮捕されました。

5月20日、さいたま地裁で勾留理由開示公判がありました。しかし、十川結衣裁判長は「暴力行為」について、説明できませんでした。「プラカードを持って押した」について、どのように「暴行」があったのか、裁判長は答えに窮し「お答えできません」と言いました。聞いていて、「暴行」は事

実ではないと確信しました。勾留期限の翌21日には釈放されるものと思いましたが、しかし21日、私の自宅に来たのは「さいたま県警」でした。どっと倒れ込んだ私は、友だちに助けを求めました。その間さいたま県警は、ドンドンとドアを叩き、鍵穴を壊して侵入しようとした。

昨年10月、私は大腿骨骨折で人工骨頭の挿入術をしました。順調に回復していたのですが、12月に乳がんが発覚し、1月末から6ヶ月間の抗がん剤治療を始めると、足の筋肉の痛みが良ならず、リハビリ治療を継続しています。抗がん剤の副作用は酷く、吐き気、全身倦怠、しびれ、むくみなど、身体が重く、思うように動けません。

友だちに付き添われて、家宅捜索の立会をしました。本人や周りの方に迷惑がかからないように思っていたのですが、自分の持ち物については、点検がおろそかでした。書類やUSBメモリなど持って行かれました。特にUSBは、ノレの会の伴奏や私の過去の記録写真などが入っていますが、悔しいです。もしみなさんに関連するものがあれば、本当に申し訳ないです。検索は「サンケン」と書いてあるもの、「組織」関係のものということだったようです。サンケン電気が、いかに警察と手を結んでいるか、いかに「抗議」を恐れているか、ということだと思います。

夫は、10日延長に対する準抗告が棄却され、5月31日までの勾留が決定しました。その後、起訴になるかどうかはわかりません。ありもしない「暴行」をでっち上げて逮捕し、いまだに勾留を続けるサンケン電気、新座警察、埼玉地裁に怒りがおさまりません。（5月28日記）

→「韓国サンケン労組を支援する会」は、サンケン電気本社への抗議と共に至急の救援カンパを呼びかけています。

ゆうちょ銀行 記号10140 番号54433981  
 加入者名「韓国労働者とむすぶ会」

### レイバーネット日本の会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合や個人が全国にアピールできる絶好の場所です。

年会費 3,000円  
 (B会員 = 5,000円 通常 + TVサポート)

現会員数 560名  
 ウェブアクセス 1日 6,000

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本  
 銀行口座 きらぼし銀行 小竹向原出張所  
 普通 5002960

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org  
 電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578